＜2019 年度事業報告書＞

2020 年 9 月 28 日

埼玉県さいたま市浦和区常盤 10-21-9　コミューンときわ 1 階
特定非営利活動法人クッキープロジェクト
代表理事　若尾　明子
電話番号　０４８−７１７−１６８９

事業の成果と課題

● 新拠点「マーブルテラス」OPEN

北浦和の物件に出会い、「いつでもだれでも立ち寄れる“まぜこぜ”な場づくり・仕事づくり」を目標とした新拠点整備に追われた 1 年となった。準備のため、毎週金曜に理事らと企画会議を開いて検討を重ね、結局「障害者総合支援法」の事業所とはならず運営する道を選択しました。新拠点には、①法人オフィス、②福祉のアンテナショップ、③飲食店（食べて集える場）、④障害者やひきこもり若者の中間的就労、の 4 つの機能を持ち合わせています。

拠点整備にあたっては、約 100 万円の寄附金や、お菓子工房 COCO からの機材寄贈、椅子の寄贈などご支援をいただいたほか、役員等より 695 万円を借入れました。

2019 年度は消費税納税スタートに加えて、コロナ禍の売上減少、さまざまな活動自粛により財政的にたいへん厳しい状況です。そんな中で、マーブルテラス開設にあたって菅原秀代さんが常勤スタッフ加わったこと、新たなボランティアさんと出会ったり、就労体験プログラムがスタートしたことは明るいトピックスです。

● 継続事業の展開

2019 年度の PR 塾は、「食品表示法」改正による新食品表示基準の商品表示ラベルづくりを支援する講座「ラベル塾」を開催しました。埼玉県しらこばと助成金を活用し、県内 38 事業所が参加しました。12 回目となる「クッキーバザール」は、前年同様に浦和・川越 2 カ所でのバザールを計画しましたが、コロナ感染拡大防止のため浦和規模を縮小、川越は残念ながら中止となりました。

おかし屋マーブルは、2019 年秋に契約更新、患者のこどもたちや家族にクッキーとほっとできる空間を届けてきることになりました。その一方で、感染症予防の観点から病院への出入りは一段と厳しくなり、なかよしギフトなどの通販に取り組みました。今後のクッキーの販売は、マーブルテラスとの両輪ですすめていきます。

デコッパ卓球は、今年は「さいたま市国際芸術祭」にアート部門で出展するという、新たなスタイルを試みました（埼玉県文化振興課助成金事業）。100 足のデコッパ展示や、仮装パレードなど、私たちらしい企画となりました。

３回目の埼玉県からの受託事業「働きづらさを抱える女性の就労支援事業」は、これまで同様に参加者同士が出会ったり新たな仕事の価値を見いだす機会にはなっています。今後はマーブルテラスで中間的就労をうまく活用して、就労まで伴走していきたいと思います。

●これからの展望

今年も、たくさんのボランティアさんの協力で活動してこられました。その一方で、3 月以降、コロナの影響でボランティア活動の自粛を余儀なくされ、思うように動けないもどかしさもあります。新拠点整備とあわせて策定した「まぜこぜ憲章」には、次の５つをうたいました。

【まぜこぜ憲章】

一、　まぜこぜな働き方・暮らし方をみんなでつくる

二、　居場所があればつながれる、モヤモヤも晴れる

三、　出会うことは、化学反応もあり、ときにうずまく

四、　クッキーもって、サクサク モグモグ ワイワイワイ！

五、　やってみよう、わからないから始めよう、さあご一緒に

「それみたことか！」「計画が甘い」と、素人の私たちが飲食店をはじめたこと対してに、そう言う人たちも少なくありません。それでも、マーブルテラスという場があることで、小児医療センターにヘルシーなお弁当をお届ける事業もスタートできたし、「コミューンときわ」というコミュニティ建物がもつ力にワクワクしています。福祉のクッキーが人と人をつなぐと信じて、作業所支援も、地域の人もうれしくなるアイデアをひねり出すしかありません。次の 1 年が正念場です。

やってみよう。わからないから、はじめよう！
さあ、ご一緒に。
今後ともご支援よろしくお願いいたします。

NPO 法人クッキープロジェクト　代表理事　若尾明子

運営の報告　　2018 年 7 月～2019 年 6 月

会員数：正会員　24 人（前年度 21 人）
サポーター個人（賛助会員）69 人　（前年度 55 人）
サポーター法人（賛助会員）　13 団体（前年度 20 団体）

寄　付：**のべ** 78 件　1,108,570 円

理事会開催：第 1 回　2019 年 7 月 14 日
第 2 回　2019 年 8 月 25 日
第 3 回　2019 年 9 月 7 日
第 4 回　2019 年 11 月 13 日
第 5 回　2019 年 2 月 14 日（C 会議）
第 6 回　2020 年 4 月 17 日(オンライン)

Ⅰ　特定非営利活動に係る事業

１．　福祉でまちづくり事業

1-1　講座・バザール　　２月 24・25 日@浦和コルソ、４月 18 日@アトレ川越中止

● 目的：

「かわいそうだから買ってあげる」ではなく、「プレゼントしたくなるクッキー」を目指して、福祉の商品の向上を図るとともに、その成果をお披露目する販売会を開催する。

今年度は、新食品表示基準の商品表示ラベルづくりを支援する講座「ラベル塾」を開催するとともに、パッケージデザインの訪問相談を実施した。

● 内容：

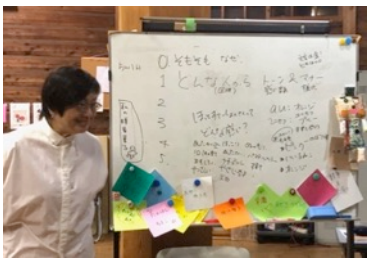
１．ラベル塾　講義＆相談会　対象：食品の製造・販売に関わる福祉作業所関係者

	北浦和会場	大宮会場	
Step１ 講義 ＋ 自習	日時：6 月 27 日　14～16 時 場所：北浦和カルタスホール 参加者：15 事業所・21 人参加	日時：7 月 5 日　14～16 時 場所：大宮 貸会議室６F 参加者：23 事業所・24 人参加	
	内容：①講義：食品表示法改正ってなんで必要なの？ポイントと変更点 埼玉県産業振興公社 よろず支援拠点　大坪晏子さん ②事例報告：ラベル作成の実践と課題 【北浦和会場】晴れ晴れ 椎木芳恵さん【大宮会場】大宮太陽の家 佐々木大さん		
Step２ 相談会	Ａグループ　北浦和	Ｂグループ　川越	Ｃグループ　大宮
	7 月 19 日　14～16 時半 参加者：8 事業所 10 人	7 月 25 日　14～16 時半 参加者：9 事業所 10 人	9 月 13 日　14～16 時半 参加者：6 事業所 6 人

２．パッケージデザイン訪問相談　講師：吉田知津子さん（当法人スペシャルアドバイザー）

訪問先	訪問日	実施内容および提案
第３川越いもの子作業所	①8/17②10/21 ③12/15	職員 12 人と広報講座、いもの子カラー作成 利用者 10 人と広報講座、表現活動でラベル案を作成
かわせみ	①8/30②10/3	職員 8 人と広報講座、かわせみらしさ共有
ほっとすてーしょん	①9/30②10/17	職員 10 人と広報講座、誰に届けたいかを整理
フレンズネットワーク	①11/15②12/5	悩みのヒアリング、商品カタログ改訂のアイデア出し

ラベル塾・講義の様子（大宮会場）



広報講座の吉田知津子先生

職員研修@第３川越いもの子

３．クッキーバザール準備会＆バザール

	さいたま会場	川越会場
準備会	1 月 16 日（木）18:00～19:30 場所：大宮太陽の家 参加者：12 人	1 月 30 日（木）13:30～15:00 場所：ウェスタ川越　参加者：20 人
	内容：　ラベル改訂の成果共有、バザール模擬販売ロールプレイ	
バザール	2 月 24・25 日@浦和コルソ、4 月 18 日@アトレ川越中止 参加作業所 24（浦和 17、川越 17）、協賛企業 27 社、ボランティア 60 人	

● **協力団体等**

埼玉県産業振興公社よろず支援拠点、埼玉県障害者支援課、(株)コミュニティコム、晴れ晴れ、大宮太陽の家、第３川越いもの子作業所、浦和コルソ、パレスホテル大宮、富士ゼロックス埼玉端数倶楽部

● **物品寄付・協賛**

パレスホテル大宮　毎日興業株式会社　TAMRON　Office NE 貸会議室 シェアオフィス 6F　ギターレ＆エアスト
SETAGAYA-SYA　一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会　はあとねっと輪っふる　武蔵野銀行　ファインモーターズスクール　合同会社 橘
(株)森島工務店　ペット便　LADDER SPORTS　co-op 埼玉県生活協同組合連合会　pal*system　デンダ歯科クリニック　OKUTA　一般社団法人 埼玉県知的障害児者生活サポート協会
大宮アルティージャ　T.T 彩太　くらしデザインスタジオ　松本醤油　いとや　鼎屋　東洋堂　ヘインレイツ

● **課題と展望**　(担当：若尾)

- 埼玉県しらこばと助成金を受けたこともあり、県障害者支援課の協力を得ることでより広く広報することで 38 団体が参加。タイムリーにラベル塾を開催できた。
- パッケージデザインの訪問相談では、悩みを聴く中で、「だれに届けたい商品か」について職員同士の話し合いができたことがよかった。
- 今後も、県単位のネットワークを活かして講座を企画していく。
- バザールは、コロナ対策のため、アルコール消毒、マスク着用、作業所の売り子当番を免除などの対策をしたものの、来場者減となりました。新しい生活様式での開催方法の開拓が今後必要だ。

川越の協賛企業まわりは、第３川越いもの子作業所さんとともに

実行委員長の吉川フレンドパーク・中村万里子さん(左)と作業所メンバーさん

今年もパレスホテルさんの応援で売り場が華やかに！

ボランティア有志で駅周辺の商店を訪問、店頭にポスターをはって歩いた

この日のために、どっさり仕入れたクッキーたちが売り場にズラリ

ギターの演奏が売り場を盛り上げる！(協力：ギターレ＆エアスト)

1-2　おかし屋マーブル（@埼玉県立小児医療センター）

● **目的**：

高度医療を必要とする子どもたちとその家族の方たちに、「障がいがあっても多様な人がいるからおもしろい」とのメッセージを届けるとともに、来店してくれる方たちが、少しでも「ほっ」とできたり、笑顔になれるお店を目指して運営。

●**内容**：＜運営４年目＞

- 埼玉県立小児医療センター２階にて、障がいのある人たちによる手づくり商品の「アンテナショップ」として、平日 10 時～17 時に営業中（現在は～15 時短縮営業中）
- 2019 年 10 月に契約更新、2 期目の運営スタート（※1 期は 2017 年 1 月～2019 年 12 月）
- 地域の多様なボランティアと「まぜこぜ」運営
- 買い物とおしゃべり＆立ち話で「まぜこぜ」へのきっかけづくり
- 「おしごと体験の場」の提供（「しごと準備講座」(受託事業)参加者対象　ほか）
- 患児ママたちの活動パンフ、作業所イベントのチラシ、小児医療センター実施アンケートやチラシ配布の協力・掲示による「情報交流」
- これまでお弁当販売がなかった（水・金）に「マーブルテラス」のお弁当販売（4 月 10 日～）

＜取引事業所数＞　※単発や催事の入荷団体を含まない

	2017 年１月 オープン時	2017 年６月末	2018 年６月末	2019 年６月	2020 年６月末 現在
焼き菓子等（買取）	１２	１８	２２	２４	２３
パン（買取）	0	3	1	1	1
弁当（委託・直販）	0	2	2	2	3
雑貨（委託）	8	１１	１６	１７	１７

＜参加者/マーブルで活動するひとたち＞

	人数・頻度など	概　要
就労訓練・体験生	不定期	・With You さいたま「しごと準備講座」受講生の仕事体験受け入れ
こんにちは販売	2 団体	・作り手の作業所によるクッキー販売（月 2～3 回）
ボランティア	23 名	・自営業、リタイアシニア、主婦、患児母、しごと準備講座修了生、福祉事業所メンバー、交通費補助あり
有償スタッフ	2 名	店舗責任者週 4 日、アルバイト週 1 日

＜マーブルでの販売・イベントなど＞

8 月 2 日・14 日「うりんこくらぶ」キッズポテトチップス販売＆店番体験
8 月 7 日　　Ｉ型糖尿病患者会「青まる」 啓発活動＆店番体験
8 月 16 日～　「アイスくじ」300 円以上お買い上げで
10 月 10 日　「みんなの病院の日」＠小児医療センター（クッキー販売ブースと患児ママの出展エリア担当）
10 月　　ハロウィンクッキー販売
12 月　　カレンダー販売、クリスマスクッキー販売
1 月 6 日　　お正月プチプレゼント＆「マーブルちゃんにメッセージと自分の願い事書こう」
2 月～3 月　バレンタイン＆ホワイトデークッキー販売
4 月 6 日～　ボランティア活動休止、こんにちは販売休止
4 月 13 日～　営業時間を 10 時～15 時に変更
5 月・6 月　「なかよしギフト」販売
6 月～　　パレスホテル大宮×工房集×マーブルコラボ夏ギフト「ジュエリーゼリー」販売
6 月～　　ふっかちゃんグッズ＆焼菓子販売

● 物品寄附

寄付者	内容
ファインモータースクール	ペーパークラフト
マルイグループユニオン	エプロン

● 売上

		店舗販売							外販
	営業日数	お菓子	雑貨	パン弁当	県産品	小計	*来客数*	*客単価*	シェフ弁・イベント等
7 月	22	668, 926	209, 636	142, 270	126, 952	1, 147, 784	*1, 765*	*650*	465, 550
8 月	21	570, 975	211, 310	93, 420	39, 516	915, 221	*1, 582*	*579*	165, 430
9 月	19	528, 388	108, 204	90, 462	13, 240	740, 294	*1, 306*	*567*	482, 519
10 月	21	599, 802	168, 370	108, 030	17, 200	893, 402	*1, 462*	*611*	273, 277
11 月	20	561, 656	121, 830	106, 940	23, 388	813, 814	*1, 468*	*540*	477, 490
12 月	20	717, 018	202, 800	106, 800	19, 920	1, 046, 538	*1, 592*	*594*	236, 400
1 月	19	530, 448	144, 020	104, 160	17, 106	795, 734	*1, 387*	*577*	217, 450
2 月	18	562, 774	180, 498	108, 210	6, 742	858, 224	*1, 345*	*553*	225, 237
3 月	21	693, 364	238, 740	116, 550	18, 320	1, 066, 974	*1, 710*	*505*	255, 721
4 月	21	353, 970	193, 270	74, 750	8, 942	630, 932	*1, 020*	*531*	0
5 月	18	310, 860	115, 220	40, 480	7, 386	473, 946	*752*	*559*	0
6 月	22	468, 222	218, 220	56, 790	25, 124	768, 356	*1, 183*	*643*	0
小計	242	6, 566, 403	2, 112, 118	1, 148, 862	323, 836	10, 151, 219	*16, 572*	*6, 909*	2, 799, 074
月間平均	20	547, 200	176, 010	95, 739	26, 986	845, 935	*1, 381*		233, 256
1 日平均		27, 134	8, 728	4, 747	1, 338	41, 947	*68*		

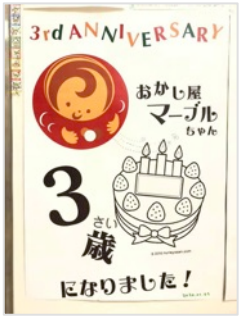
【課題と展望】　（担当：浜本）

① **商品仕入れなど**：今年度より当法人は消費税納税事業者（簡易課税方式）となった。10 月から消費税増税、雑貨は 10%の内税に引き上げられた。バザール参加の新規事業所に取引を打診しているが、コロナ対策の関係もあり検討中のままとなった。引き続き打診していく。

② **ボランティア**：コロナ対策でもっとも影響を受けて、現在ボランティア活動は休止している。院内、特に病棟に感染を持ち込まないという小児医療センターの方針を踏まえ、慎重に状況をみながら活動再開の時期を判断・実施していく。

③ **院内の取り組み**：みんなで病院を育てる会主催のイベント「みんなの病院の日」で、マーブルで出会った患児ママ運営の 3 グループに出展・展示してもらうことができた。子どもの診察があるママの製品を別のママが販売ボランティアを引き受けてくれるなど、ちいさな協力ができた。引き続きママたちの活動しやすさを念頭にできることを模索していく。

④ **事務局連携**：「マーブルテラス」オープンとコロナ対策に伴って、事務局スタッフが一同に介したり、打ち合わせを行ったり業務を一緒に担うことが難しくなった。この状況下での情報共有や協力のあり方につて、工夫して新たなやり方を見つけていきたい。



２．　障がい児者の社会参加プログラム開発事業

2-1　デコッパ大展覧会　　１月２５日～ @旧大宮図書館

● 目的

① 障がいのある人もない人も、デコッパの制作や卓球体験を通じて、アートをともに楽しむ。

② ハンズオンアート制作を通じて多様な市民の参画を促進する。

③ 県内の障がい者アートの展示・交流WSを行い発信することで文化醸成の機運を高める。

● 内容

１．さいたま国際芸術祭市民企画「さいたまアートアクション展」

- 1 月 25 日のオープニング当日の参加者はのべ 120 人。
- 事前のデコッパ制作ワークショップを含めると約 250 名の参加者とともに「暮らしの中の芸術」を楽しんだ。
- 東京新聞・大宮経済新聞等の報道を見て参加する人もいたが、コロナ感染拡大とともに展示は延期→中止となった。
- 事業実施にあたっては、「オール埼玉で彩る文化プログラム」として埼玉県文化振興課の助成を受けた。
- 100 足の作品を掲載したデコッパ新聞を発行した。

２．バリアフリーワークショップ

- 開催にあたっては、さいたま市ノーマライゼーション条例を前提に、さいたま国際芸術祭の会場となる旧大宮図書館のバリアフリーワークショップ「ボーダレスにアートを楽しむための旧大宮図書館大冒険」に取り組んだ。
- 芝浦工大松下ゼミ生や、障害者団体「みっくすビート」等の協力を得て、段差解消、エレベーターの改善、トイレの改修などなどの整備をすすめるよう働きかけた。

日付		内容
7 月 31 日	第 1 回会場見学	さいたま国際芸術祭会場旧大宮図書館会場下見、芸術祭事務局と打合せ
9 月 5 日	第 1 回実行委員会	
9 月 14 日	毎日文化祭	デコッパ制作 WS　@産業支援センター　のべ 20 名の参加
9 月 26 日	第 2 回実行委員会	
10 月 6 日	障害者まつり	デコッパ制作と体験 WS　@埼玉県障害者交流センター　のべ 20 名参加
10 月 7 日	芝浦工大演習コーディネート	旧大宮図書館会場見学　バリアフリーツアー
10 月 24 日	キッズアートプロジェクト	デコッパ制作と体験 WS　@うりんこくらぶ（鴻巣）のべ 20 名参加
11 月 7 日	第 3 回実行委員会	
11 月 23 日	バリアフリーワークショップ①	芸術祭市民企画として「ボーダレスにアートを楽しむための旧大宮図書館大冒険（前編）」30 名参加

12 月 7 日	バリアフリーワークショップ②	「ボーダレスにアートを楽しむための楽しむための旧大宮図書館大冒険（後編）」30 名参加
1 月 19 日	つきのとかげプロジェクト	デコッパ制作 WS@旧大宮図書館　のべ 40 名参加
1 月 25 日	デコッパ大展覧会オープニング	芸術祭市民企画展開始　のべ 50 名の参加 デコッパレード　氷川参道を練り歩き芸術祭オープニングを宣伝 工房集高谷こずえさんの協力を得て、キラキラデコッパ卓球台制作 WS

※　2～3 月に予定されていた展示、ワークショップなどはすべて中止となった

● **物品寄附**

寄付者	内容
毎日興業(株)	卓球台

● **メディア**：東京新聞埼玉版、大宮経済新聞

【課題と展望】　（担当：谷居）

- 競技部門を体験にとどめ、アート部門に特化して開催したことは、デコッパ装飾に関心のある新たな層との出会いとなった。一方、チーム競技を楽しみたい層は参加には至らなかった。
- バリアフリーワークショップには、市職員や建築・都市計画に関わる学生の参加があった。芸術祭は中止となり、成果を見届けることはできなかったが、将来のまちづくりに活きれば嬉しい。
- 2020 年度は、コロナの影響もあり大きなイベントとしては開催を見送るが、マーブルテラスで、常時展示して「日常の中のアート」として、小さなまぜこぜ体験の機会を積み重ねていきたい。
- 会員交流企画として好評を得た「芸芸芸」を継承して、若者の参加プログラムとして、月 1 回、コミューンときわスタジオを借りて、「芸・芸・芸」を開催していく。（中央ろうきん助成）

デコッパ新聞

2-2　しごと準備講座

しごと準備講座イメージキャラクター：
半歩さん
もう家にいるのは「飽きた・・・」でも一人では不安で就職活動に踏み出せない半歩さん。しごと準備講座では、仲間と出会い、「しごと」と出会うための「半歩」を応援します。

● **目的**：不登校・ひきこもり・発達障害・精神疾患など働きづらさを抱える若者が、仲間と出会い、仕事と出会うための「半歩」を応援する連続講座・相談会を目指す。

● **内容**

・ 埼玉県 With You さいたま受託事業「働きづらさ･生きづらさを抱えた女性支援事業」として、(1)しごと準備講座(10 回連続×2期)と、(2)グループ相談会「しごと準備カフェ」(月1、全 10 回)の2つを実施。

（１）しごと準備講座

＜前期＞	＜後期＞
①オリエンテーション・からだほぐし 講師 竹森茂子氏　6/26　7 人参加 ②パソコン操作体験（４回）　講師 遠藤ひろみ氏 7/3　12 人参加　7/17　8 人参加 8/14　7 人参加　8/28　8 人参加 ③おしごと体験 7/12～8/25　計 16 日のべ 27 人参加 ④振りかえり　9/4　7 人参加　講師 古川晶子氏 ⑥フォローアップ　11/27 5 人参加	①導入　9/25　8 人参加 ②パソコン操作体験（４回）　講師 遠藤ひろみ氏 10/1　9 人参加　10/16　5 人参加 11/12　3 人参加　12/4　3 人参加 ③おしごと体験　10/11～11/28　計 9 日 のべ 13 人参加 ④振りかえり　12/18　3 人参加　講師 古川晶子氏 ⑤フォローアップ 2/5 4 人参加

（２） しごと準備カフェ（グループ相談会）

ふだんじっくり話せないような、生き方や、自立について、人間関係･健康上の悩みなどの話を聴き合うグループ相談会。アートセラピーなども取り入れながら、自分らしさを肯定し、自己決定の助けとなる場をめざす。メインファシリテーターは、宇野慶子さん（蒼い空の会主宰)、竹森茂子さん（女性のからだ自立教室主宰)。

日付	テーマ／メインファシリテーター	参加人数
5 月 29 日	「わたし」を好きになる-こころのストレッチ-（竹森）	4 人
6 月 19 日	「わたし」もあなたも大切にする-居心地のいい場所をつくる-（宇野）	8 人
7 月 10 日	人とよりよい関係を築く-きもちの伝え方(1)-　（宇野）	7 人
8 月 21 日	世間の枠にとらわれない「わたしらしさ」を手に入れる　（宇野）	11 人
9 月 18 日	「わたし」ってどんな人？-長所と短所を知る-　（宇野）	6 人
10 月 9 日	ストレスと上手につきあう　（宇野）	10 人
11 月 6 日	「わたし」の過去と未来-しごとに対するきもちと向き合う-　（宇野）	7 人
12 月 11 日	からだの声をきく-こころとからだのゆるストレッチ-　（竹森）	6 人
1 月 22 日	人とよりよい関係を築く-きもちの伝え方(2)-　（宇野）	9 人
3 月 4 日	明日の「わたし」へ手紙を贈ろう　（宇野）	コロナで中止

【課題と展望】

・ しごと準備講座は、ゆっくりペースで受講生にとってよい体験の場となっている手応えはあるが運営体制としては、おしごと体験に膨大な時間をとられることが課題だ。（担当：若尾）

・ 自己の内面に深く入り込むテーマに関心の高いリピート参加者が通年で徐々に増えた。２０２０年度はコロナ対策をしつつで、助け合う方法を探りながらの開催となる。（担当：谷居）

３．　企業の社会貢献プログラム開発

3-1　チャリティ商品企画・外販

● 目的：

地域のイベントや企業実施のイベント等でのクッキー販売、ノベルティ商品やチャリティ商品の開発を行い、販売拡充と認知度の向上・拡充を図る。

●内容：

１．パレスホテル大宮によるチャリティ企画（２商品）

① ホテル特製「シェフ弁当」の販売を継続実施（月 1 回、第４金曜日に予約販売）

② 同ホテル･工房集･マーブルのコラボ企画「夏のゼリーギフト」販売（４年目）

2020 年 6 月より 140 セット販売開始

２．置きクッキー：オフィスの一角やレジ横に販売スペースで販売

設置場所：コワーキングスペース７F（2 回）／埼玉大学生協（3 回）

３．地元イベントや企業実施のイベント等でクッキー販売とノベルティー商品開発を実施

日時	出展/納品	備考
7 月 16 日	野口体操のの会	
7 月 27 日	劇団サードクオーター	
9 月 14 日～15 日	リレーフォーライフジャパンさいたま@さいたま市緑区	
9 月 14 日	毎日文化祭	
9 月 20 日	カルソニックカンセイ大感謝祭	社内販売
9 月 21 日	劇団どくんご	
10 月 6 日	第 40 回埼玉障害者まつり@埼玉県障害者交流センター	（初）
10 月 10 日	みんなの病院の日@埼玉県立小児医療センター	
10 月 11 日	連合女性委員会	
11 月 2 日	ソロウマーケット@川越アトレ屋上	（初）
11 月 2 日	草加 PAL 埼玉青空市	
11 月 4 日	野口体操のの会	
11 月 9 日	蕨 PAL 埼玉青空市	
11 月 9 日	劇団サードクオーター	
11 月 9 日	ブルースカイ王国・雑木林コンサート@三芳町	（初）
11 月 14 日	With You さいたま（県民の日）	
11 月 15 日～16 日	インクルージョンフェス@マルイ本社	
11 月 16 日	MTDDC Meetup 2019	（初）ノベルティ
11 月 24 日	Kids Art Project 2019	
11 月 27 日	連合女性委員会	
12 月 10 日	さいたま国際芸術祭 2020　100 日前イベント@旧大宮区役所	（初）
1 月 11 日	アドバンテスト労組@アドバンテスト R&D センター	（初）社内ｲﾍﾞﾝﾄ
1 月 19 日	つきのとかげプロジェクト	
1 月 20 日～31 日	「ハートフルクッキー」販売@埼大生協	埼大学生委員会
1 月 25 日	さいたま国際芸術祭（オープニング）	（初）
2 月 6 日	毎日興業・社員表彰用（メダルクッキー・プチギフト）	ノベルティ
2 月 7 日～８日	With You フェスティバル@With You さいたま	
2 月 9 日	ファインモータースクール（バレンタインギフト）	
3 月 10 日	ファインモータースクール（ホワイトデーギフト）	
	２９件	うち（初）７件

【課題と展望】　（担当：浜本）

① **チャリティ商品**：パレスホテル大宮のご協力の月 1「シェフ弁当」は、小児医療センターの関係者にご愛顧いただき、12 月には過去最多の 291 個販売となった。今年度は 7 月～翌 3 月までの 9 回で合計 2,162 個、平均 240 個/回。コロナのため 4 月からは販売休止中。多様なボランティアによる「まぜこぜ」の活動機会が細ったことは非常に残念。タイミングを慎重にみながら再開したい。

② **置きクッキー**：新拠点「マーブルテラス」を北浦和にオープンし、多くの方に商品を買っていただきやすい状況をつくることができたこと、置きクッキーの核である「100 円クッキー」の製造事業所数も減っている現状も踏まえて、今後については適宜相談をしながら進めていく。

③ **外販**：今年度あらたに出展・納品機会をいただいたものは 7 件（昨年度 12 件）。コロナ感染症対策に伴い、3 月から 6 月の出店機会はゼロとなり大幅な売上減少となった。再開の時を待ちたい。

第 40 回埼玉障害者まつり

「みんなの病院の日」

リレーフォーライフさいたま

MTDDC Meetup@紀尾井町

3-2　ピアショップカタログ

- **目的**：さいたま市内のピアショップの活性化へカタログリニューアルで貢献
- **内容**：さいたま市内のピアショップは、市内の福祉作業所が協議会をもって、市内 10 区役所と子育て支援センター内で販売を行っている。福祉部福祉課障害者支援課に、出品商品のカタログリニューアルを提案、企画編集を行った。
- A5 フルカラー　24p　3,000 部
  さいたま市内ピアショップ参加作業所、市内各区役所障害者支援課窓口で配布

	日付	内容・参加人数
企画会議		
	7 月 14 日	ピアショップ会議内で参加作業所へ説明　中央区障害者生活支援センター

【課題と展望】

- 他の政令指定都市ではほとんどのアンテナショップを行政が運営しているが、さいたま市ではまだまだ需要の掘り起こしがされていない。
- 商品・ジャンル・事業所によって、商品の魅力にばらつきがある。
- 本カタログ発行で、商品の見せ方、つくり方、届け方をよりよくする機運を盛り上げられたらよい。

４．障害福祉サービス事業

4-1　新拠点整備

● **目的**：

おかし屋マーブルでの経験を活かし、地域の人に集いの場を提供しながら、地域の大人も子どもも障がい者もいろんな人がまぜこぜで働く場づくりの準備を進めた。

● **内容**：

- 事務所を間借りしていたお菓子工房 COCO 閉店にともない、本格的に拠点整備を探し、北浦和のコミュニティ建築「コミューンときわ」にご縁をいただいた。
- 新拠点 C 会議の開催（2019 年 9 月より毎週金曜夜に理事を中心に開催）し、設備、メニュー開発などを分担。
- 店舗デザインはおかし屋マーブルと同様（株）B&R、ものくり商事にご協力いただいた。
- 準備イベント（試食会）
  12／15 おにぎり試食会、1／13 コロッケ試食会、1／29 カレー試食会
  ＠お菓子工房 COCO
  試食会＠テラス 3／7・8、関係者プレオープン＠テラス 3／15・16
  外覧会 2／2（主催：コミューンときわ）に焼き菓子等を提供。

- まぜこぜ憲章を完成し、新拠点の指針とした。

【まぜこぜ憲章】
一、　まぜこぜな働き方・暮らし方をみんなでつくる
二、　居場所があればつながれる、モヤモヤも晴れる
三、　出会うことは、化学反応もあり、ときにうずまく
四、　クッキーもって、サクサク モグモグ ワイワイワイ！
五、　やってみよう、わからないから始めよう、さあご一緒に

● **物品寄付・協賛**　厨房機器寄贈　お菓子工房 COCO
いすの寄贈　9 人より 16 客
清掃道具の寄贈・清掃指導　毎日興業株式会社

● **課題と展望**　（担当：若尾）

- お菓子工房 COCO 閉店に伴い、急ピッチで拠点を整備することになり、事業計画の準備不足が否めないところもあるが、コミュニティをつくるという「コミューンときわ」にお力添えいただきながら、当法人らしい拠点を運営していきたい。
- 建築設備については、スタッフの石井の専門知識によるサポートにより最小限の経費で、理想的なハードを整備することができたことに感謝したい。今後は、このハードをどう活かすか、会員さんや近隣住民さんの知恵をお借りしながら運営してきたい。開設にあたっては役員らより多額の借金をしている。しっかり収益をあげて返済していきたい。

4-2　マーブルテラス

●目的：

障害のある人ない人、ニートも学生もシニアも、いろんな人がまぜこぜで働いて、新たな出会いの場を作る。法人の拠点も兼ねて 2020 年 3 月 19 日オープン。おかし屋マーブルに続く 2 号店。

●内容：

- 営業時間：火曜日から日曜日 10：00～17：00（ランチタイム 11：30～14：00）でオープンしたが、緊急事態宣言により 4 月から店内飲食は自粛しテイクアウト販売を開始、緊急事態宣言解除後の 5 月 30 日より店内飲食を再開、開店時間を 11：00～17：00 に変更した。
- テイクアウト開始と同時に、おかし屋マーブルでの弁当販売をスタート。
- 常勤スタッフ 3 名と、接客や皿洗いなどに日替わりでボランティアの協力をいただきながら運営している。
- また、コミューンときわのマンション清掃を請負い、就労体験の場として週 2 回活動している。元 COCO のメンバーやボランティアが毎回３～6 人参加し 1 回 2 時間程度活動している。
- 月例イベントとして「とき話のじかん」を企画したが、コロナのため第２回以降は休止中。

　第１回とき話のじかん　3 月 18 日　参加者 19 人

「メディアとしての場所づくり～記憶に残る事例から～」

お話：地域活性コンサルタント、埼玉県よろず支援拠点コーディネーター 齊藤哲也さん

●課題と展望

① 提供メニュー

定番メニューは、タコライスとトマトカレー。お子さん連れの店内利用も多く見受けられることや、おかし屋マーブルでの販売も考慮し、辛くない子どもでも食べやすいメニュー開発を行いたい。

② ボランティア

現在 4 名のボランティアに接客や皿洗いなどご協力いただいている。7 月からも 1 名増えることとなっている。活動時間は 11：00～14：00 の 3 時間で、賄い付き。ボランティアの力を借りてお客様に楽しい時間を過ごしていただけるような場としていきたい。

③ イベント開催

作業所クッキーや、まぜこぜの理念を広く知ってもらうためにも、通りがかりの人が足を止めて覗いてもらえるような企画が必要。テラスでの朝市やフリーコーヒー等の実施を予定している。従来行ってきた交流会等は、夜間の店内利用や、コミューンときわのスタジオを借りて行いたい。また、コミューンときわの住民さんが企画する交流会等のイベントには積極的に協力していく。

④スタッフ体制

事務局 3 名＋ボランティアで店舗運営を行ってきたが、週 1 日勤務のスタッフを 2 名増員し、他業務と両立できるよう店舗運営を行っていきたい。

５．管理部門

５－１　広報

● **目的**：クッキープロジェクトの活動、関係する団体との連携なども含め、内外で情報共有を円滑にし、発信することで、認知度・信用度を高め会員やファンを増やす。

● **内容**：

・ クッキー新聞：年２回発行、WEB や SNS（facebook、twitter、instaram）にて、日々の活動、イベントの告知や報告の情報発信に取り組んだ。

・ クレジットカードで、毎年更新が可能な会費納入サイトを立ち上げた。また年度末にも、コロナ禍の影響もあり、オンラインショップをたちあげた。

【課題と展望】　（担当：谷居）

・ クレジットによる会員入会ならびに会費納入が可能となり、新規会員を獲得することができたことは大きな成果だ。

・ また、マーブルテラス応援として、会員有志による非公式ファンクラブとして zoom お茶会を開催していただくなど、今後の広報活動には、非対面の情報受発信が重要になってくると実感している。

・ 会員参加型の「広報部」は活動を立ち上げたものの具体的に活動にいたらなかった。事業拡大にともない、事務局だけで広報を担うには負担が大きく対策が急がれる。

・ コロナ禍で、対面での交流が思うようにはかれない中、Online ショップの活用など、新たな視点をとりいれながら広報を活性化させていきたい。

Ⅱ　その他の事業

なし

以上